

総務文教

十月二十七日から二十九日までの日程で、香川県直島町の「行政と芸術の関わり方について」と高松市の「小中一貫教育の取り組みについて」を調査視察した。直島町は、工業エリア、文教・行政エリア、文化・リゾートエリアに大別され、文化・リゾートエリアには、ベネッセハウス（美術館とホテルの複合施設）、地中美術館、直島・家プロジェクト（古い民家を改修・保存し、現代アートを制作・展示）

示）などがあり、また、島のいたるところに現代アート作品が展示されており、観光客に好評を得ていた。平成二十年度の観光客は約三十四万人。この事業は、行政と民間企業との思いが一致し、スタートしたものであり、官と民が一体となった素晴らしい取り組みであった。

高松市は、三小学校と二中学校を統合し整備する小中一貫教育に取り組んでいた。基本的な方向として、九年間を4・3・2のましまりごとの目標設定、第一年からの英語科の実施、

ジヤ―事業を導入、地域再生マネージャーを中心に商店主有志でまちなか研究室を発足。空き店舗を活用したワイン製造を中心に地場産品等の販売を行い、その収益をまらづくり活動に役立てている。今では類似施設が2施設あり、高齢者が多いという街の実情をもとに徒歩圏マーケットを確立している。

観光経済

十月二十日から二十三日までの日程で、鹿児島県霧島市の「花は霧島、体験、交流プロジェクト」、熊本県荒尾市の「地域再生事業」、福岡県久留米市の「食料、農業、農村基本条例の制定」等について視察をした。

その中で、荒尾市では、国の地域再生計画の第一回目に応募、食をテーマに地域循環型モデルビジネスの創出を目指した。その後、地域再生マネー

それらの地域に密着した活動が評価され、国や県から表彰されるなど各方面から高い評価を受け、今後その活動には大きな期待が

環境教育・キャリア教育を二本柱とした新設教科の設定など、夢に向かってたくましく挑戦する意欲を持った人づくりを目指すものであった。



直島町での総務文教委員

民生福祉

十月十四日から十六日までの日程で、愛知県北名古屋市の「思いでふれあい事業（回想法）」と、京都府福知山市の「ごみ有料化及び減量化の取り組み」を調査視察した。

対象とし、過去の思いでや記憶を話したり聞いたりすることで認知症の予防や進行抑制を目的とするものである。事業の検証結果として認知機能・心の健康面で有意な傾向が見られた他、医療費削減の効果もあったとのことだった。

北名古屋は、平成十四年度から認知症を研究している医師による勧めで、「思いでふれあい事業（回想法）」を開始している。回想法とは、主に高齢者を

福知山市は、平成十三年二月からごみ有料化を実施、市民への意識啓発の一環として、全国的にも珍しい、焼却場・埋立場・リサイクルプラザを一箇所にまとめ、環境パークとして開場している。住民の意識を高めるための活動として、

常任委員会視察報告

寄せられている。今回の視察において学んだことを今後の市政に反映させていきたい。

建設

七月七日から十日までの日程で、熊本県宇城市、宮崎県日向市及び西都市の各市の事業について調査視察を行った。

当市においても、市営住宅整備に係る市民等からの要望は依然として多く、財政面や遊休地の有効活用の観点からも参考になると思われる。

その中で、宇城市の「PFI事業に準じた方式による借上型市営住宅整備」は、民間事業者等が建設した住宅を市が借り上げて市営住宅として使用するものであり、借上期間中は市が土地

また、宮崎県日向市の「中心市街地活性化基本計



福知山市での民生福祉委員

画の駅周辺整備」及び西都市の「景観基本条例に基づく景観計画」についても、今後の市政に反映させていきたい。



久留米市での観光経済委員



宇城市での建設委員